

令和7年度飯山市美術館運営協議会（第1回）会議録

開催日時 令和7年（2025年）5月22日（木） 15：30～17：00

開催会場 飯山市公民館101号会議室

参集者 （敬称略）

委員 明石洋一 浅野井さお里 阿部拓也 吉田正紀 佐藤環 星野秀樹 置塩ゆかり

欠席 沼田文恵

教育委員会 山田晃（教育長） 島崎紀明（文化振興部長）

井端伸介（美術館長（兼）美術館係長） 木村友子（美術館職員）

1 開会

事務局： 令和7年度美術館の運営協議会第1回目ということでお集まりをいただきました、平日のお仕事のある中でございますが、どうかご容者をお願いしたいと思います。

2 辞令交付

教育長より辞令交付 委員8名（欠席者含む）

3 あいさつ

教育長： 皆さんこんにちは。教育長の山田でございます。本日は、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。この飯山市美術館運営協議会は、市民に親しまれる美術館を目指し、お集まりいただきました委員の皆様から忌憚のないご意見をいただく場でございます。この度、委員をお願いいたしました皆様につきましては、前年度から引き続きお願いした方が3名、また、今年度から新たに委員をお願いした方が5名いらっしゃいます。多くの皆様にとって初めて顔をあわせていただく機会となりますが、よろしく願いいたします。

皆様におかれましては、2年間の任期中、飯山市美術館の事業に関わりまして、是非前向きなご意見をお寄せいただき、より良い美術館運営にもお力をいただきたいと思っております。

昨年度は4つの企画展『松陰寺と細川家の秘宝 ブッダと白隠禅師展』、『猪瀬清四朗人体彫刻を追究した60年』、『長野県立美術館移動展 丘に沿って、川に沿って』、『伝統美と創造の世界 長谷川青澄没後20年展』を開催しました。飯山市出身の彫刻家の猪瀬清四朗さん、また、飯山市名誉市民の日本画家長谷川青澄さんの作品をはじめ、数々の素晴らしい作品を私自身間近に鑑賞することが出来、その度に感動を覚えました。今年度も企画展をはじめとして来館された方々に感動していただける展示ができればと思っております。

本日の協議会では、令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画、さらには令和8年度以降の企画展の予定についても事務局から準備状況等の説明がございま

す。今年度の事業につきましては、既に予算化された計画に基づき業務を進めておりますが、来年度の事業につきましては、この夏に具体的な内容を上げて予算計上していくこととなりますので、来年度に計画している企画につきましては委員の皆様からご意見いただけると大変ありがたいです。企画展につきましては、開催する年の2年以上前から準備や調整をしておりますので、令和9年度と10年度、あるいはそれ以降の長期的視点に立ったご意見もいただければと思っております。

結びに、これからもこの飯山市美術館が市民の皆様にとって憩いの場となるよう委員の皆様のご助言やご協力をよろしく願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

4 自己紹介

各自自己紹介

5 会長選出

事務局： 大変お疲れ様でございます。前回の会議で委員の2年の任期が終わりまして、今回、新たな委員ということでお願いをさせていただきました。この後、会長と会長職務代理の選出をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

本日、沼田委員はご欠席です。立候補もしくは推薦、またはご意見なければ事務局案がございますが、いかがでしょうか。事務局案でよろしいでしょうか。

それでは、事務局案を申し上げたいと思ひます。会長さんに、明石洋一さん、職務代理に阿部拓也さんにお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。拍手をもって決定といたします。

全委員拍手により決定

6 会長、会長職務代理あいさつ

事務局： 会長の明石委員、それから、職務代理の阿部委員から一言ずつ就任のご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

会長： この運営委員3期目です。一応、流れを知っておりますので、不慣れではございますが、美術館の運営が素晴らしい方向に向かうよう、皆様のご協力をいただきたいと考えております。何卒よろしくお願ひいたします。

伝統産業会館ということで、我々仏壇事業組合の仏壇を展示させていただいております。この伝統産業会館という場所は、全国に24か所ぐらいしかございませんので、併設する美術館を、我々としてもしっかりと運営させていただきたいと思ひます。簡単ではございますが、着任の挨拶ということでよろしくお願ひします。ありがとうございました。

職務代理： この運営協議会の名簿に、かなり前から名前は載せていただいていたのですが、なかなか都合があわず、今回初めて出席してこのような役をいただき、務まるかどうか不安はありますが、頑張ってやっていきたいと思ひます。先ほど会長が

おっしゃられた伝統産業会館のことについて、もう少し色々できればと考えていますので、よろしくをお願いします。

7 協議事項

職務代理： それでは7の協議事項に入らせていただきます。

(1) 令和6年度(2024年度)事業報告について

事務局： 資料のとおり説明

委員： 特になし

(2) 令和7年度(2025年度)事業計画について

事務局： 資料のとおり説明

職務代理： 令和7年度事業計画についてご意見、質問ありますか。

職務代理： 1点、私からいいですか。3のギャラリー展の北信濃工芸展ですが、これは、私の関係者の展示で、現在、開催に向けて第1回の会議を開催しているところです。期間は半月ぐらいを予定していて、会期中にワークショップを行う予定です。これについてはまた色々なかたちで皆さんにお知らせしていきたいと考えています。大人だけでなく、お子さんにもワークショップを通じて、ものづくりがどうやってできるか、そういうことでもないと作り手さんと直接お話できることもなかなかないと思いますので、是非とも参加していただけるよう、こちらも発信していきたいと考えています。

事務局： 是非ともよろしくをお願いします。

職務代理： 他にありますか。

委員： 特になし

(3) 令和8年度(2026年度)以降の企画展等の予定について

事務局： 資料のとおり説明

事務局： 8年度の企画展については、佐々木晴香さんはドイツ在住なので、作品の輸送にお金がかかるのをどのように工夫をするかを考えているところです。佐々木さんの企画展は是非実現させて、若い世代、特に小中学生・高校生に見せたいと考えています。

委員： 美術品の輸送は、国内だけでも非常に高いですね。予算的に大丈夫でしょうか。

事務局： 予算を低くするための工夫として、例えば、作品は痛みますが、キャンバスは分解して運ぶなど、作家と話し合いを重ねています。今年の夏と年末、さらに来年の6月を合わせて3回、作家がドイツと飯山を往復する際に、追加荷物というかたちで荷物を増やして、作家本人が動く時に作品を運ぶのが1番効率が良いようです。この方法で、展示室がほぼ埋められるだけの作品が運べます。また、ほかに、ベルリンでは作家に対する助成制度が日本よりもかなり多く、現在、作家の

ほうで、ドイツ人もしくはドイツ在住で5年以上の外国人作家を対象とした助成制度に申し込んでいるところです。作品を海外で展示するための輸送費と作家の渡航費用に対して助成される制度のようです。このようなことについて、佐々木さんとメールのやり取りをしている段階です。

職務代理：他に意見ありますか。

委員：特になし

(4) 飯山市学びのエリア再整備ビジョン策定について

事務局：資料のとおり説明

職務代理：今説明のありました通り、後日書面でもいいということなので、また皆さんのお考えを書いて提出していただきたいと思います。では、議事の内容と、また全体を通してご質問ありましたらお願いします。

委員：特になし

8 その他

委員：せっかく皆さんが揃っているので、芸術文化協会としてのお願いがあります。芸術文化協会は昨年40周年記念事業を行いました、実際は41年目に40周年事業をやっている、現在、42年目に入っています。発足当時は1000名を超え、最盛期は1500人ぐらいいたそうですが、今やその10分の1になっております。

今、私が芸術文化協会の会長として思うのは、飯山には伝統文化がたくさんある、阿部委員（職務代理）が携わっておられる内山紙とか、あるいは仏壇制作に携わる伝統工芸士がいらっしゃる。そういったものを芸術文化協会として広めていきたいと常々思っております。美術館の運営協議会の場ですが、伝統工芸に携わっている人たちと手を組んでやっていきたいと考えているので、是非とも我々芸術文化協会の方にもお力を貸していただきますようお願いいたします。飯山の伝統文化を世間に広めるためにも、お互いに手を携え、支え合えばいいのではと思っております。

市民芸術祭はコロナ禍の影響を大きく受けましたが、徐々に前の状態に戻りつつあります。この委員の中にも、内山紙とか、佐藤委員のように和紙作品を作っていらっしゃる方など、たくさんいらっしゃるのに参加していただきたい。星野委員もよろしくお願いいたします。

事務局：先日まで公民館の廊下にあった作品がなくなって寂しくなりました。作品を展示したいというご希望があれば、どんどん開放して受け入れていきたいと考えています。開かれた公民館、美術館にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

9 閉会